

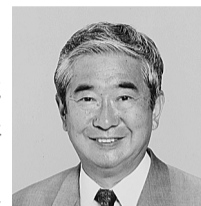
東京都は7月28日の先行きを見通すこと、4副知事連名にとが困難な中でも、よる依命通達「平成24年度予算の見積りについて」を各部署に出し、24年度予算の見積り方針として「ゼロシールンクを継続」して行うように指示しました。

この「ゼロシールンク」の継続は、建物維持管理費に関しては、平成20年度から5年連続となります。

24年度予算の位置づけでは、「財政環境

前年度の範囲内で

24年度予算で「依命通達」



石原東京都知事

東京都は7月28日の先行きを見通すこと、4副知事連名にとが困難な中でも、よる依命通達「平成24年度予算の見積りについて」を各部署に出し、24年度予算の見積り方針として「ゼロシールンクを継続」して行うように指示しました。

この「ゼロシールンク」の継続は、建物維持管理費に関しては、平成20年度から5年連続となります。

24年度予算の位置づけでは、「財政環境

東京は16円アップ

23年度地域最賃を答申

中央最低賃金審議会は7月27日、「平成23年度地域別最低賃金改定の目安について」を答申し、「全国平均で6円、東京は16円」の改定の目安を提示しました。今回の審議でも、労働者の意見の隔たりは大きく、結局、「公益委員見解」という形で答申されました。しかし、この「答申」の中には、これまでないコメントが加えられ、「行政機関が民間企業に業務委託を行って

今回の審議で労働者側は「労働者の生計費は現在の最賃水準では生活費水準に到底及ばない」と「相対的貧困率」が最大の16%に達している中で（平均）642円の最賃額は貧困ラインを下回っていることが必要

東京都産業労働局は3月15日から、東日本大震災で直接被害を受けた中小企業者に対して、その事業の再建に必要な資金を融資するための「災害復旧資金融資」を実施しているが（本紙第205号既報）、7月4日から「据置期間の延長」を利子補給の実施を行い

利子補給と据置延長

7月19日から受付

これが今回の措置で、①据置期間を「2年以内」に②利子の補給を行い、「融資額全体の0.5%を貸付後1年以内」で実施するとしています。

申込み受付期間は、7月19日から9月11日まで。申込み方法は①利子補給金交付申請書②償還予定表（コピー）

③支払口座振替依頼書を金融機関経由で都に提出します。

受付場所は、①取扱指定金融機関②東京信用保証協会③都各支庁④都労働局金融部金融課となっています。

問い合わせは、同金融課。電話（03）5320-4873番。内線36-820-1。

成23年度東京都財務局建物維持管理入札結果は、ビル管理ジャンル社発行の「東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県 平成23年度建物維持管理入札結果」によるものです。

同書によるとこの「入札結果」は、契約第2課で取りまとめたものとしています。

東京都財務局の「平成23年度建物維持管理入札結果」が、このほど分かりました。23年度の業務別落札率は、①建物管理（清掃）が63.5%②設備保守が74.7%③警備・受付が65.3%。これを22年度を比べると、①建物管理が2.3%②設備保守が1.9%③警備・受付が3.4%それぞれ低下。この3業務とも前年度を下回ったのは2年続けてのことです。

こうした結果について契約第二課の影山忠男課長は「仕様書をしっかりと読み、前年度落札価格の実績を見て応札しているようだ。都は仕様書に基づいて適正な予定価格を設定している。仕様書を良く読んでほしい」とコメントしています。

平成23年度 東京都財務局建物維持管理入札結果

| 年度 | 23年度 | | | 22年度 | | |
|---------------|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| | 建物管理 | 設備保守 | 警備・受付 | 建物管理 | 設備保守 | 警備・受付 |
| 総入札件数 | 43 | 51 | 29 | 44 (※45) | 50 | 28 |
| 落札件数 (比率) | 43 (100.0) | 50 (98.0) | 29 (100.0) | 43 (97.7) | 49 (98.0) | 27 (96.4) |
| 入随件数 (比率) | 0 (0.0) | 1 (2.0) | 0 (0.0) | 1 (2.3) | 1 (2.0) | 3 (3.6) |
| 対目途額 落札比率 | | | | | | |
| 90%以上 (比率) | 4 (9.3) | 9 (17.6) | 4 (13.8) | 9 (20.5) | 12 (24.0) | 5 (17.9) |
| 90%未満 (比率) | 39 (90.7) | 42 (82.4) | 25 (86.2) | 35 (79.5) | 38 (76.0) | 23 (82.1) |
| 落札率 (%) | 63.5 | 74.7 | 65.2 | 65.8 | 76.6 | 68.6 |

（注）（※）は入札実施件数。後日再入札のためこのデータに含まれず。

落札率また低下 予算未消化額は31.9億円

23年度入札で注目されたのは、21年度から「試行が始まった長期継続契約」と「総合評価方式」の動向。長期継続契約は23年度は①第2本庁舎（清掃・その3）②西多摩建設事務所（建物管理）で、ただ、契約期間はこれまでより1年短い2年間とされました。その理由について影山課長は「仕様変更の可能性のある建物管理は、3年間では長すぎると話しています。

他方の総合評価方式は、今年度から新たに「神経病院（建物管理）」が適用されました。そしてこれは3年間の長期継続契約とされています。

このほか、昨年度まで単年度契約で総合評価方式を行っていた①広尾病院（設備保守）②大塚病院（同）③墨東病院（警備・電話交換）が、今年度から3年間の長期継続契約で行われることになりました。

このように長期継続契約と総合評価方式は、着実に拡大傾向をたどっています。

これらの「未消化額」を合計すると、何と31億8663万1963円という巨額となります。

23年度入札で注目されたのは、21年度から「試行が始まった長期継続契約」と「総合評価方式」の動向。長期継続契約は23年度は①第2本庁舎（清掃・その3）②西多摩建設事務所（建物管理）で、ただ、契約期間はこれまでより1年短い2年間とされました。その理由について影山課長は「仕様変更の可能性のある建物管理は、3年間では長すぎると話しています。

他方の総合評価方式は、今年度から新たに「神経病院（建物管理）」が適用されました。そしてこれは3年間の長期継続契約とされています。

このほか、昨年度まで単年度契約で総合評価方式を行っていた①広尾病院（設備保守）②大塚病院（同）③墨東病院（警備・電話交換）が、今年度から3年間の長期継続契約で行われることになりました。

このように長期継続契約と総合評価方式は、着実に拡大傾向をたどっています。

これらの「未消化額」を合計すると、何と31億8663万1963円という巨額となります。